

## 「創業者の夢」半世紀経て実現

# ホンダジェット

# 日本初飛行

ホンダが米国で開発してきた小型ビジネスジェット機「ホンダジェット」が23日、日本上空を初飛行し、羽田空港に着陸した。創業者の故本田宗一郎氏が1962年に航空機への参入を宣言してから半世紀余りで夢が実現した。今月25日～5月4日に国内5カ所で一般公開する。

羽田空港で記者会見し、考えた。た伊東孝紳社長は「性能、ホンダジェットは最大や快適性で小型ビジネス7人乗り。胴体に取り付ジェットの新しいスタン、けるのが一般的なエンジンタード（標準）を切り開、ンを主翼の上に置く独自の自信作だ」と語った。の設計で、空気抵抗を軽減し、需要動向を見極めた、減し機内も広くした。エンジンには米ゼネラル・エレクトリック（GE）と

共同開発。同じクラスの小型機に比べ、燃費性能は約17%高いという。価格は450万円（約5億4千万円）。既に欧米で企業経営者を中心に100機以上の受注があり、近く米国で型式証明を取り得し、納入を開始する。一般公開は今月25日に仙台空港、26日に神戸空港、29日に熊本空港、5月2～3日に岡南飛行場（岡山市）、4日に成田空港。各空港でデモ飛行や機体展示を行う。



羽田空港に着陸するホンダの小型ビジネスジェット機「ホンダジェット」＝23日午後

2015年4月24日 朝刊

①ホンダで航空機を初めて作ろうと考えたのはだれでしょうか。

[ ]

②夢を描いてから実現するまでどのくらいの時間がかかったでしょうか。

[ ]

③ホンダジェットは、どんな独自の設計をしたのでしょうか。

[ ]

年 組 名前